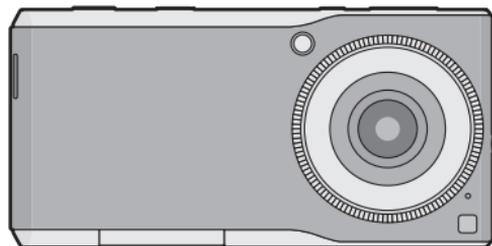


Panasonic[®]

取扱説明書 デジタルカメラ

品番 DMC-CM1



LUMIX

安全上のご注意

準備

基本

ネットワーク接続

カメラ

メール・ウェブブラウザ・電話

その他・Q&A

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～10ページ)を必ずお読みください。
- さらに詳しい操作説明は、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)に記載されています。Webサイトからダウンロードしてお読みください。(56ページ)
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書付き

パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2015

SQT0432
F0115WT0

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください(3～10ページ)

準備

付属品.....	11
各部の名前と働き.....	12
microSIMカード(別売)を入れる・ 取り出す.....	13
内蔵メモリー/ microSDカード(別売)について.....	14
充電する.....	16

基本

電源を入れる・切る.....	17
タッチパネルの使い方.....	18
ホーム画面.....	19
ステータスバー.....	20
アプリの使い方.....	21
文字入力.....	22
Android™ 初期設定.....	23

ネットワーク接続

モバイル通信接続.....	24
Wi-Fi® 通信接続.....	25

カメラ

カメラを起動する.....	26
撮影画面の見方.....	26
撮影モードを選ぶ.....	28
写真を撮る.....	29

動画を撮る.....	32
写真・動画を見る.....	33

メール・ウェブブラウザ・電話

連絡帳.....	34
Eメール/Gmail™.....	35
ウェブブラウザの起動.....	37
電話.....	38

その他・Q&A

Q & A 故障かな?と思ったら.....	40
システムアップデート.....	41
使用上のお願ひ.....	42
日本国内で無線 LAN / Bluetooth® をお使いになる場合の お願ひ.....	49
本機の比吸収率(SAR).....	51
輸出管理規制.....	52
仕様.....	53
もっと詳しく知りたい (取扱説明書 活用ガイドを読む).....	56
CLUB Panasonicで愛用者登録の ご案内.....	57
保証とアフターサービス (よくお読みください).....	58
無料修理規定.....	63
保証書.....	裏表紙

■ 本文中の記号について



お知らせを記載しています。

本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。

ホーム画面 → [] → []

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

本機の取り扱いについて

危険

-  くぎで刺したり、衝撃を与えたりしない
内蔵電池の発熱・発火・破裂の原因になります。

-  火への投入、加熱をしない
内蔵電池の発熱・発火・破裂の原因になります。

安全上のご注意

危険



火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない
内蔵電池の発熱・発火・破裂の原因になります。

警告



長時間、直接触れて使用しない

本機やACアダプターの温度の高い部分に直接触れたまま長時間連続使用すると、低温やけど*の原因になります。

※ 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人(高齢者)などは、低温やけどになりやすい傾向があります。



分解や修理、改造をしない

感電や、異物の混入などによる火災の原因になります。

分解禁止



電子レンジなどの加熱調理機器や、高圧容器に入れない

加熱や加圧により内蔵電池が破損し、液もれ・発熱・発煙・破裂・発火の原因になります。



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。



金属などの導電性物質を充電端子や外部接続端子に触れさせない

ショートによる発熱や内蔵電池の破裂・発火の原因になります。

警告



雷が鳴ったら、触れない

感電の原因になります。

- 本体には、金属部があります。

接触禁止



microSDカード、microSIMカード、SIMトレイは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



先のとがったもので傷をつけない

発熱や火災の原因になります。



ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



歩行中や自動車・自転車などの運転中に操作しない

転倒や交通事故などの原因になります。



乗り物を運転中や、周囲の音が聞こえないと危険な場所でヘッドホンを使わない

事故の原因になります。

踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、特にご注意ください。

警告



運転者などに向けてフラッシュを発光しない
事故の誘発につながります。



異常・故障時には直ちに使用を中止する
異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く

- 破損した
- 内部に水や異物が入った
- 煙が出ている
- 異常なおいや音がする
- 異常に熱い

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

– すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、販売店に修理について
ご相談ください。



航空機内では電源を切る*

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。
航空機内での使用については、航空会社の指示に従ってください。

※ やむをえずこのような環境で本機を使用するときは、ホーム画面→
[]→[]→[その他 ...]→[機内モード]をタップして有効にして
ください。ただし、航空機の離着陸時など、無線の電源を切ってもカメラ
や電子機器の使用が禁止されている場合もありますので注意して
ください。



**ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合
は必ず事前に電源を切る**

ガスに引火するおそれがあります。

- 粉じんの発生する場所でも電源を切る



**画面の点滅光を見ているときに不快感を感じたら、直ちに使用をや
めて医師の診察を受ける**

長時間点滅光にさらされると、ごくまれに発作や失神を起こすこと
があります。

警告



病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る

手術室、集中治療室、CCU*などには持ち込まないでください。本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

※ CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。



心臓ペースメーカーの装着部位から 15 cm 以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

注意



次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなる場所 (特に真夏の車内やボンネットの上など)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ



不安定な場所に置かない

落下して、けがの原因になることがあります。



高温環境・低温環境で使用する場合、直接触れない

やけどや低温やけど、凍傷の原因になることがあります。直接触れる必要がある場合は、すばやく行ってください。

接触禁止

注意



本機の上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。



フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。



フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。



レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。



ガラス部品が破損した場合、割れたガラスやむき出しになった内部には触れないように注意する

けがの原因になります。



1時間ごとに10～15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。



ヘッドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

危険



指定のACアダプターを使用する

発熱・発火・破裂の原因になります。

警告



ACアダプターは、誤った使いかたをしない

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- ケーブル、プラグを破損するようなことはしない(加工する、傷つける、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流 100 V ~ 240 V 以外)で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない
- 雷が鳴り始めたら触れない
- 本機以外の充電には使用しない



電源プラグは、正しく扱う

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない
- 抜くときはケーブルを無理に引っ張らず、ACアダプター本体を持って抜く
- お手入れの際は抜いてから行う

内蔵電池について

 危険



内蔵電池を自分で交換しない

発熱・発火・破裂・感電の原因になります。

- 本機はお客様ご自身で交換できない内蔵電池を使用しています。内蔵電池の交換については販売店にご相談ください。



指定の方法以外で充電しない

液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。



内蔵電池が液もれを起こした場合は火気に近づけない

発熱・発火・破裂の原因になります。



内蔵電池からもれた電解液が目に入ったり皮膚や衣服に付着した場合は、水でよく洗い流す

液が目に入ったら、失明のおそれがあります。

- すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

付属品



付属品をご確認ください。

記載の品番は2015年1月現在のものです。変更されることがあります。



ACアダプター
VSK0829

- microSIM カード、microSD カードは別売です。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。

詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

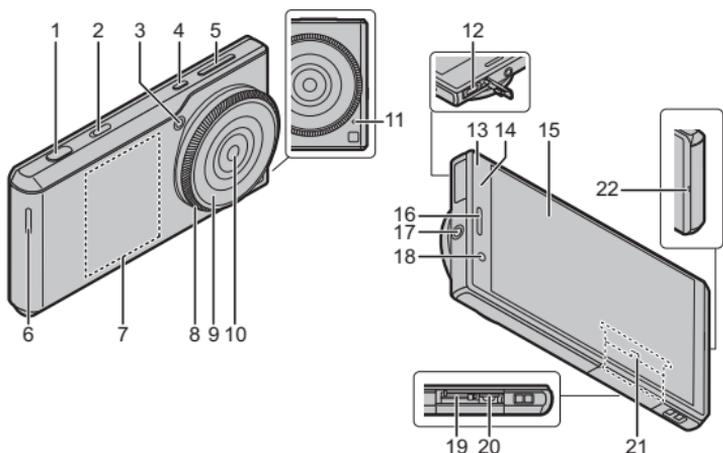
<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト



Panasonic Store

各部の名前と働き

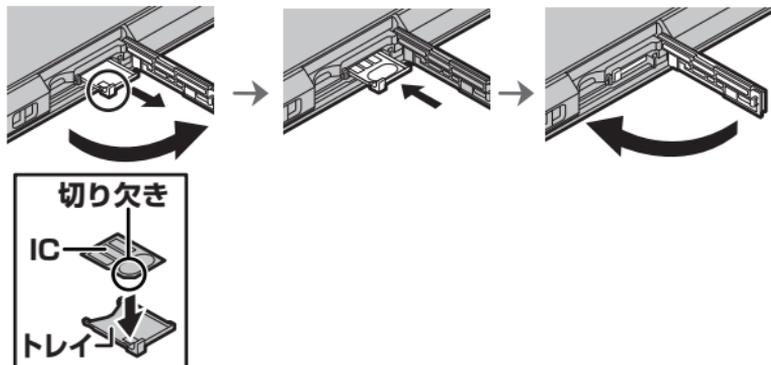


1	シャッターボタン(P29)		
2	カメラ切換スイッチ(P26)		
3	フラッシュ発光部 / AF補助光ランプ		
4	[]ボタン(P17)		
5	[]/[]ボタン		
6	スピーカー		
7	NFCアンテナ部		
8	コントロールリング(P30)		
9	レンズフロントリング(37 mm径)		
10	アウトカメラ(P26)		
11	マイク		
12	microUSB端子(P16)		
13	着信ランプ/充電ランプ(P16)		
14	光センサー/近接センサー センサーの誤動作を防ぐためセンサー部分を手で覆ったりシールなどを貼ったりしないでください。		
15	ディスプレイ(P18)		
16	受話口		
17	イヤホン端子		
18	インカメラ		
19	microSIMカード挿入口(P13)		
20	microSDカード挿入口(P15)		
21	銘板プレート 引き出し式の銘板です。移動体識別番号などが記載されています。		
22	送話口 / マイク		

microSIMカード(別売)を入れる・取り出す

microSIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。microSIMカードを差し込まないと電話やメッセージ(SMS)の送受信などが行えません。microSIMカードを付け外しする際には、IC部分に不用意に触れたり、傷をつけたりしないようにしてください。

- 1 本機のコントロールリング面を上に向けて、カード挿入口カバーを開く
- 2 トレイのつめに指先をかけ、まっすぐ水平に引き出す
- 3 microSIMカードのIC面を上にしてトレイに乗せる
● microSIMカードの切り欠きに気をつけて、正しい向きで乗せてください。
- 4 本機の向きを確認して、トレイをmicroSIMカード挿入口へまっすぐ水平に差し込む
- 5 カード挿入口カバーを閉じる



■ 移動体識別番号について

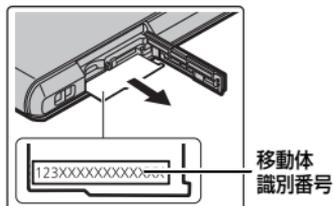
本機には固有の移動体識別番号があります。移動体識別番号の確認方法は以下のとおりです。

電子表示で確認する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [端末情報] → [端末の状態] → [IMEI] の項目を確認する

銘板プレートで確認する

- 1 カード挿入口カバーを開く
- 2 SIMトレイを取り出す
- 3 銘板プレートを手前に引き出す
● 強く引くと破損するおそれがありますので、お気をつけください。



内蔵メモリー/microSDカード(別売)について

内蔵メモリーについて

- 容量:約 10 GB
- microSD カードよりもアクセス時間が長い場合があります。
- 記録した画像はmicroSDカードにコピーすることができます。(P33)

本機で使用できるmicroSDカードについて

本機では、SD規格に準拠した以下のmicroSDカードが使用できます。
(本書では、これらをmicroSDカードと記載しています)

- microSDメモリーカード(64 MB～2 GB)
 - microSDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)
 - microSDXCメモリーカード(64 GB～128 GB)
- 対応する製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記サポートサイトをご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>
なお、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDHCメモリーカード、microSDXCメモリーカードは、それぞれの対応機器でのみ使用できます。
 - 他の機器に接続時、microSDカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。

■ 動画撮影とSDスピードクラスについて

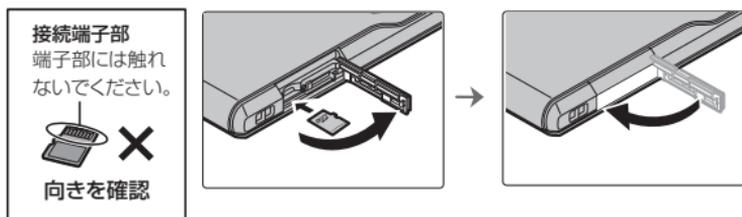
動画の[画質設定] (P32)によって必要なmicroSDカードが異なります。以下のSDスピードクラスに対応したmicroSDカードをお使いください。

- SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。microSDカードのラベル面などでご確認ください。
- SDスピードクラスはmicroSDカードの性能であり、SDスピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありません。

[画質設定]	SDスピードクラス	表示の例
FHD/HD/ VGA/1:1	Class 4以上	CLASS 4 4
4K	Class 10	CLASS 10 10

■ microSDカードを入れる・取り出す

- 1 カード挿入口カバーを開き、microSDカードの接続端子部を下にして、向きに気を付けて「カチッ」と音がするまで確実に差し込む
 - 取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し込み、まっすぐ引き抜いてください。
- 2 カード挿入口カバーを閉じる

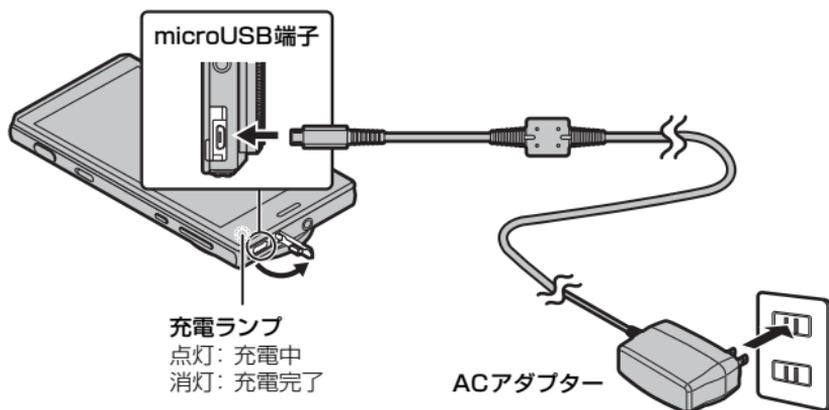


- 内蔵メモリーやmicroSDカードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やmicroSDカードの故障などにより壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをお勧めします。

充電する

本機とACアダプターをつなげて充電します。

- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- 充電時間については、53ページをお読みください。



- 1 microUSB端子カバーを開き、ACアダプターのケーブル端子の向きを確認して、microUSB端子に差し込む
- 2 ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込む

■ 充電が完了したら

- 1 ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く
- 2 ACアダプターのケーブル端子を本機から抜く

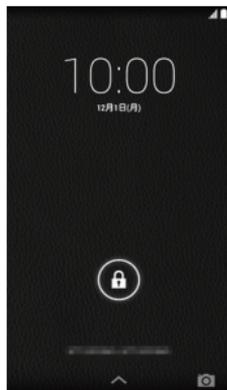


- 充電中、本機やACアダプターが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 節電および電池性能維持のため、内蔵電池を完全に充電したあとは、ACアダプターを電源コンセントから抜いてください。
- ACアダプターの電源プラグやコンセントの形状は国/地域によって異なります。
- 電池が空の状態で充電を開始すると充電ランプが点滅することがありますが、異常ではありません。しばらく充電すると、充電ランプは点灯に変わります。

電源を入れる・切る

[] ボタンを2秒以上押して、電源を入れる

- しばらくすると、ロック画面が表示されます。
- 初めて電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。(P23)
- 電源が入った状態で[] ボタンを押すとスリープ/スリープ解除が行えます。



準備

基本

■ 電源を切るときは

[] ボタンを1秒以上押す → [電源を切る] → [OK]

■ 再起動するとき

[] ボタンを1秒以上押す → [端末を再起動する] → [OK]

画面ロックを解除する

[] をガイド(外周の白い線)までスライドする

- [画面のロック]で設定を変更している場合は、設定した解除方法を行います。

ガイド



タッチパネルの使い方

本機のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- お買い上げ時にタッチパネルに貼られているシートをはがしてからお使いください。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合にはタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでお気をつけください。

- 手袋をしたままでの操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- タッチパネルがぬれたままでの操作

- 爪の先での操作
- 保護シートやシールなどを貼った状態での操作
- 指が汗や水などでぬれた状態での操作

タップ

項目やアイコンをトンとたたいて選びます。



ダブルタップ

ウェブページを拡大したいときなどに素早く2回続けてタップします。



ロングタッチ

項目やアイコンを指で押さえたままにします。ポップアップメニューなどを表示する場合に使用します。



フリック

複数の写真があるときなどに画面を素早く払うように触れると、前後の写真に切り換わります。



ドラッグ

項目やアイコンを指で押さえながら移動します。



スクロール

画面を上下左右方向にフリック/ドラッグして、隠れている部分を表示します。



ピンチ

ウェブページや写真などを表示中に、画面を2本の指で広げる(ピンチアウト)と拡大し、つまむ(ピンチイン)と縮小します。



- **画面の縦横表示を切り換える**
本機の向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本機を縦または横に持ち替えて画面表示を切り換えることができます。

ホーム画面

ホーム画面はアプリを使用するためのメイン画面です。他の画面を表示しているときは[]をタップするとホーム画面が表示されます。

■ 操作アイコン

画面の下部には操作アイコンが表示されます。



- ① 直前の画面に戻ります。
- ② ホーム画面を表示します。
- ③ 最近使用したアプリをサムネイルで表示します。サムネイルをタップするとアプリを起動できます。

■ ホーム画面操作

- ① Google 検索™
- ② ショートカット、ウィジェット、フォルダーを配置できます。
- ③ ホーム画面には複数のページがあり、現在のページを表しています。左右にフリックするとページを切り換えることができます。
- ④ よく使うショートカット、フォルダーよく使うショートカットなどをドラッグして格納します。
- ⑤ アプリ一覧を表示します。(P21)



基本

アイテムを移動する	<ol style="list-style-type: none">1 アイテムをロングタッチする2 配置したい場所にドラッグする
ウィジェットを追加する	<ol style="list-style-type: none">1 背景部分をロングタッチ → []2 追加したいウィジェットをロングタッチする3 配置したい場所にドラッグ
ショートカットを追加する	<ol style="list-style-type: none">1 []をタップする2 追加したいアプリをロングタッチする3 配置したい場所にドラッグする
アイテムを削除する	<ol style="list-style-type: none">1 アイテムをロングタッチする2 画面上部の[削除]にドラッグする
壁紙を変更する	<ol style="list-style-type: none">1 背景部分をロングタッチ → []2 変更したい壁紙をタップする3 [壁紙を設定]をタップする

ステータスバー

ステータスバーには本機の状態を示すステータスアイコンと通知アイコンが表示されます。



主なステータスアイコン一覧

	電波状態
	バッテリーレベル
	充電中
	機内モードON
	バイブレーションON
	サイレントモードON
	ミュート

主な通知アイコン

	新着Gmail™
	新着Eメール
	新着インスタントメッセージ
	新着ボイスメール
	Wi-Fi使用可能
	不在着信
	通話中
	通話保留中

■ 通知パネルを開く

通知パネルでは、不在着信や新着メールなどの通知内容を確認できます。

ステータスバーを下にドラッグする



■ バイブレーションモードに設定する

[] ボタンを1秒以上押す → 

■ サイレントモードに設定する

[] ボタンを1秒以上押す → 

■ 機内モードに設定する

航空機器などの妨げにならないように本機のワイヤレス通信機能をすべて無効にします。

[] ボタンを1秒以上押す → [機内モード]

アプリの使い方

- 1 ホーム画面 → 
- 2 起動したいアプリをタップする

■ 主なアプリ一覧

	カメラ		設定
	Google カレンダー™		電話
	ギャラリー		連絡帳
	Google マップ™		Google Chrome™
	メール		Google 検索™
	Google 音声検索™		Google Play™ ストア
	時計		

- アプリ一覧には複数のページがあります。左右フリックするとページを切り換えることができます。
- 本機に搭載されているアプリケーションは、バージョンアップによって、予告なく追加や変更される場合があります。
また、アプリケーションの操作方法や画面表示が変更される場合があります。

Google Playストア

Google Playストアで楽しいゲームや便利なアプリを検索して、本機にインストールできます。

- 1 ホーム画面 →  → 
- 2 アプリを検索してインストールする

インストールしたアプリを削除する

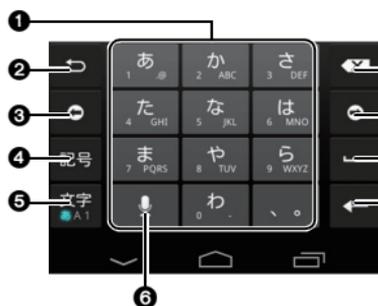
- 1 ホーム画面 →  →  → [アプリ]
- 2 [ダウンロード済み] タブ → 削除したいアプリをタップ
- 3 [アンインストール] → [OK]

文字入力

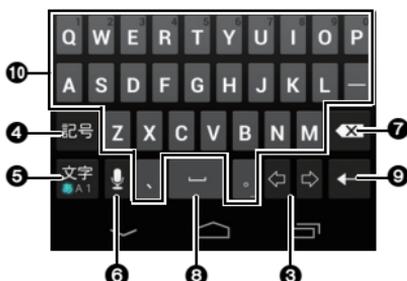
キーボードはテキストボックスをタップしたときなどに自動的に表示されます。Wnn Keyboard Labキーボードでは、日本語をかな入力するテンキーモードと、日本語をローマ字入力するフルキーモードがあります。

モードを切り換えるには、文字入力中に[文字]をロングタッチして[テンキー⇄フルキー]をタップします。

テンキーモード



フルキーモード



- 1 タップやフリックをして文字を入力します。
同じキーを続けてタップすると文字が切り換わります。
- 2 文字入力中にタップすると文字が逆順で切り換わります。
- 3 カーソルを移動します。
- 4 絵文字や記号、顔文字を入力します。
テンキーモードの場合は、文字入力中に[英数カナ]をタップすると、英字、数字、カタカナに変換できます。
- 5 タップすると入力する文字の種類が切り換わります。
- 6 音声入力を行います。
- 7 カーソルの左側の文字を削除します。
- 8 スペースを入力します。文字入力中にタップすると文字を変換できます。
- 9 改行します。文字入力中にタップすると文字を確定します。
- 10 タップして文字を入力します。

Android™ 初期設定

お買い上げ後、初めて本機の電源を入れた場合は、画面の指示に従って言語やWi-Fiの設定を行います。

- 1 言語を選択 → 
 - 2 画面の指示に従って各種設定する
 - 3 各種設定後、診断情報についての説明を確認 → [許可しない]/[許可する]
 - システムアップデート時やエラーが発生した場合などに、解決が必要な情報や端末の状態に関する情報が製造元へと送信されます。この情報は端末の品質・サービスの向上のみに利用されます。データを送信する際にデータ通信料が発生することがあります。
 - 初期設定が完了するとチュートリアル画面が表示されます。画面の内容を確認しながら[OK]をタップします。
-  ● 本機はネットワーク上の日時を取得して自動的に日付と時刻を設定しますが、ご使用の環境によっては設定されない場合があります。その場合は手動で設定してください。

アカウント設定

アカウントを追加することで、Google™などのサービスでデータを同期できます。

- Google アカウントを設定すると、Google Play ストアからアプリのダウンロードが行えたり、各種データのバックアップなどが行えます。Google アカウントを設定することをお勧めします。

- 1 ホーム画面 →  → 
- 2 [アカウントを追加] → 追加したいサービスをタップ
 - 以降、画面に従いアカウント情報を入力します。

モバイル通信接続

メールやメッセージ、インターネットへのアクセスをするために2G/3G/LTEネットワークを利用できます。

ほとんどの通信事業者の場合は、microSIMカードを挿入すると自動で接続先が設定されます。

自動設定されない場合は、手動でアクセスポイントを設定する必要があります。アクセスポイントの設定時に必要な情報については、ネットワーク契約を結んだ通信事業者にお問い合わせください。

アクセスポイントを設定する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [その他...] → [モバイルネットワーク] → [アクセスポイント名] → []
- 3 [名前] → 作成する設定の名前を入力 → [OK]
- 4 [APN] → アクセスポイント名を入力 → [OK]
- 5 以降、必要な情報を入力する
 - 入力する内容は、通信事業者によって異なります。
- 6 [] → [保存]

利用中のアクセスポイントを確認する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 [その他...] → [モバイルネットワーク] → [アクセスポイント名]
 - 複数のアクセスポイントが設定されている場合は、現在接続されているアクセスポイントにチェックマークが付いています。

Wi-Fi® 通信接続

本機はWi-Fi通信接続に対応しています。無線LANサービスを利用してメールやインターネットなどを利用できます。

Wi-FiをONにする

1 ホーム画面 → [] → []

2 [Wi-Fi]をONにする

- すでに接続の設定が完了している場合は、ステータスバーに[]が表示されます。



- Wi-FiをONにすると、モバイル通信接続が有効なときでもWi-Fi接続が優先されます。
- Wi-FiをOFFにすると自動でモバイル通信接続に切り換わります。

Wi-Fiネットワークに接続する

1 ホーム画面 → [] → []

2 [Wi-Fi]をタップする

- 検出されたWi-Fiネットワークが一覧で表示されます。

3 Wi-Fiネットワークを選ぶ

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選んだ場合、パスワード(セキュリティキー)を入力して[接続]をタップします。
- 目的のWi-Fiネットワークが表示されない場合は、手動でWi-Fiネットワークを追加してください。



- 一度Wi-Fiネットワークに接続すると、次回から同じWi-Fiネットワークの圏内に入ったときに自動でWi-Fiネットワーク接続に切り換わります。
- Wi-Fiネットワークによっては、ウェブページにアクセスするときにユーザー名とパスワードの入力が必要となる場合があります。詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

■ Wi-Fiネットワークを手動で追加する

1 ホーム画面 → [] → []

2 [Wi-Fi] → []

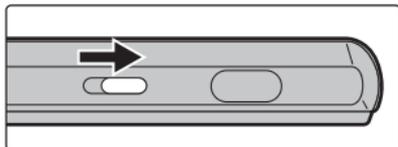
3 ネットワークSSIDを入力する

4 必要に応じてセキュリティの種類を選び、パスワードを設定 → [保存]

カメラを起動する

カメラ切換スイッチをスライドさせたあと、離す

- ホーム画面 → []でも起動できます。



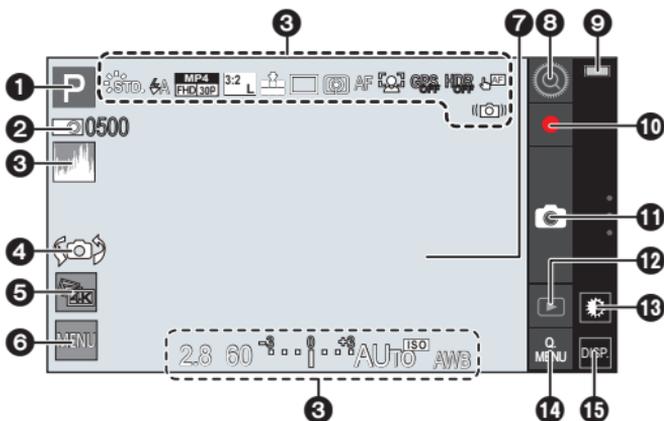
■ カメラを終了するには

カメラ切換スイッチをスライドさせたあと離す、または下記の操作でも戻ることができます。

- 1 画面の右端を左にフリックする
- 2 []をタップする



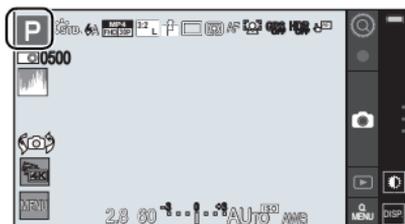
撮影画面の見方



①	撮影モード(P28)			
②	保存先 / 記録可能枚数 / 記録可能時間 ● mは「minute(分)」, sは「second(秒)」を省略した表示です。			
	設定状態を示しています。 ● ここではその主なアイコンを例として説明しています。詳しくは「取扱説明書 活用ガイド」をお読みください。			
③		フォトスタイル		HDR
		フラッシュモード*		タッチ設定
		画質設定		手ブレ警告
		画像横縦比 / 記録画素数		ヒストグラム表示
		クオリティ(P31)		プログラムシフト
		ドライブモード	2.8	絞り値(P29)
		測光モード(P31)	60	シャッタースピード(P29)
	AF	フォーカスモード*		露出補正值 明るさ マニュアル露出アシスト
		オートフォーカスモード(P31)	AUTO	ISO感度
		位置情報記録	AWB	ホワイトバランス ホワイトバランス微調整 色合い(ホワイトバランス調整)
④	カメラモード(アウトカメラ/インカメラ)切り換え			
⑤	4K プリ連写			
⑥	メニュー			
⑦	AFエリア(P29)			
⑧	コントロールリングメニュー			
⑨	バッテリー残量			
⑩	動画撮影開始/終了(P32)			
⑪	写真撮影			
⑫	画像再生			
⑬	高輝度モード切り換え			
⑭	クイックメニュー			
⑮	表示切り換え			

撮影モードを選ぶ

- 1 撮影画面 →
撮影モードアイコン



2 撮影モードを選ぶ

- コントロールリングを回しても選べます。

iA	インテリジェントオートモード 本機におまかせで撮影します。
iA+	インテリジェントオートプラスモード インテリジェントオートモードで明るさと色合いを変更できます。
P	プログラムAEモード 本機が決めた絞り値とシャッタースピードで撮影します。
A	絞り優先AEモード 絞り値を決めて撮影します。
S	シャッター優先AEモード シャッタースピードを決めて撮影します。
M	マニュアル露出モード 絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。
C1 C2	カスタムモード あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。
SCN	シーンガイドモード 撮影シーンに合わせて撮影します。 [人物をきれいに撮る]や[風景をきれいに撮る]、[夜景をきれいに撮る]など、22種類のシーンを選ぶことができます。
o	クリエイティブコントロールモード 画像効果を確認しながら撮影します。 [オールドデイズ]や[ハイキー]、[ダイナミックモノクローム]など、18種類の画像効果を選ぶことができます。
o	パノラマモード パノラマの写真を撮影します。 [オールドデイズ]や[ハイキー]、[ダイナミックモノクローム]など、13種類の画像効果を選ぶことができます。

写真を撮る

- 撮影時は、レンズに指、髪などがつかからないようにお気をつけください。
- シャッターボタンを押す瞬間に、本機が動かないようにお気をつけください。動くとも画像がぶれる原因になります。薄暗いところでは特にぶれやすくなります。

1 撮影モードを選ぶ(P28)

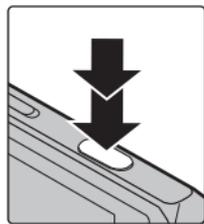
2 シャッターボタンを半押し(軽く押す)してピントを合わせる



- 絞り値とシャッタースピードが表示されます。
(適正露出にならないときは、赤くなり点滅します)

ピント	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯	点滅
AFエリア	緑	赤
音	ピピッ	—

3 シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して撮影する



ズームを使って撮る

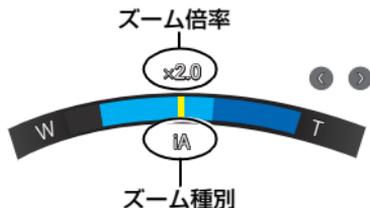
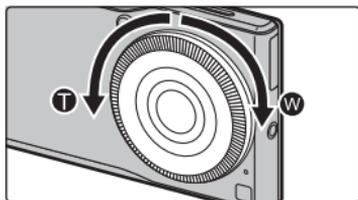
風景などを広く(広角:W側)撮ったり人や物を大きく(望遠:T側)撮ることができます。(最大4倍)

画面をピンチイン/ピンチアウトする

または

コントロールリングで操作する

- コントロールリングメニューに[Q]が表示されていない場合は、ズームに設定してください。
- [◀]/[▶]をタップしても、ズーム操作できます。
- [◀]/[▶]をロングタッチすると、連続的にズーム操作できます。



撮影に便利なメニュー

撮影画面 → [MENU] → [撮影] → メニュー項目

■ ドライブモード

シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。

[□]	(単写)	シャッターボタンを押すと1枚だけ撮影します。
[📷]	(連写)	シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
[📷]	(オート ブラケット)	シャッターボタンを押すと、露出の補正幅に従って3枚連続で撮影します。
[🕒]	(セルフタイマー)	シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。

■ 画像横縦比

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。

[4:3]	4:3テレビの横縦比
[3:2]	一般のフィルムカメラの横縦比
[16:9]	ハイビジョンテレビなどの横縦比
[1:1]	正方形横縦比

記録画素数

本機で撮影した写真は、最大約2010万画素の画像データとなります。小さい用紙へプリントする場合や、Webなどにアップロードする場合は、記録画素数を小さくして撮影することをお勧めします。

記録画素数と記録可能枚数について

● 画像横縦比 [3:2]、クオリティ [■] の場合

	L(20M)	M(10M)	S(5M)	XS(2.5M)
microSD カード(8 GB)	720	1310	2290	6010
microSD カード(32 GB)	2910	5310	9250	24300

クオリティ

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

[■] (ファイン)	画質を優先したJPEG画像です。
[■] (スタンダード)	標準画質のJPEG画像です。
[RAW] (RAW+ ファイン)	RAW画像とJPEG画像([■])を同時に記録できます。
[RAW]	RAW画像のみを記録できます。

オートフォーカスマード

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

[■] (顔認識)	人の顔を自動的に検知します。(最大15個)
[■] (追尾AF)	指定した被写体にピントを合わせることができます。
[■] (23点)	AFエリアごとに最大23点までピントを合わせることができます。
[■] (1点)	中央のAFエリア内にピントを合わせます。

測光モード

明るさを測る測光方式を切り換えることができます。

[■] (マルチ測光)	画面全体の明るさの配分を本機が自動的に評価して、露出が最適になるように測光する方式です。通常はこの方式に合わせて使用することをお勧めします。
[■] (中央重点)	画面中央部の被写体に重点を置いて、画面全体を平均的に測光する方式です。
[■] (スポット)	スポット測光ターゲット上の被写体に対して測光する方式です。

動画を撮る

MP4で記録される動画を撮影できます。音声はステレオで記録されます。

- 動画撮影時は、マイクの穴を指などで塞がないでください。
- 動画撮影中もズーム操作ができます。
- 動画撮影前にズームを使っていた場合、ズーム倍率は引き継がれますが、ズーム種別は変更されることがあります。
- ピントは動画撮影開始時の位置で固定されます。撮影中にピントを合わせ直したいときは、**[AF]**をタップして、もう一度ピントを合わせてください。
- 動画撮影中にシャッターボタンを全押しすると、動画撮影中に写真撮影もできます。
- 動画撮影中にコントロールリング操作やボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- 高温な環境下で撮影したり、連続して撮影するなどして本機の温度が上がった場合、撮影を停止し、カメラアプリを終了します。

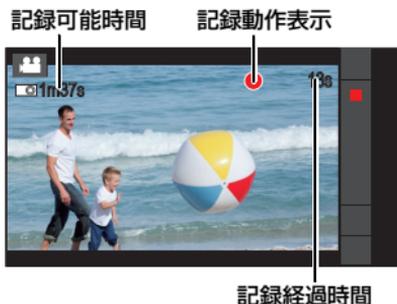
1 撮影画面→**[●]**

- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。
- 動画の記録中は、記録動作表示(赤)が点滅します。

2 **[■]**をタップする

■ 画質を設定する

撮影画面 → **[MENU]** → **[動画]**
→ **[画質設定]** → 項目を選ぶ



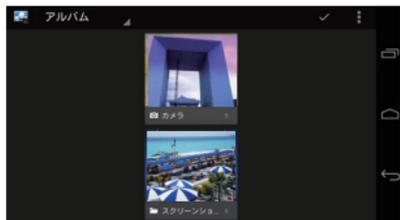
項目	サイズ	フレームレート	ビットレート
[MP4 4K 15p]	3840×2160	15p	50 Mbps
[MP4 FHD 30p]	1920×1080	30p	20 Mbps
[MP4 HD 30p]	1280×720	30p	10 Mbps
[MP4 VGA 30p]	640×480	30p	4 Mbps
[MP4 1:1 30p]	640×640	30p	4 Mbps

- 1つの動画として連続記録できる時間は29分59秒まで、ファイルサイズは4GBまでです。記録できる時間は、画面で確認できます。([4K 15p]/[FHD 30p])では、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる時間は29分59秒より短くなります)

写真・動画を見る

1 ホーム画面 → [] → []

- アルバム一覧画面が表示されます。
- 撮影画面で [] をタップすると、直前に撮影した画像が再生されます。
- 初回起動時は、Google ドライブへの自動バックアップをONにするかどうかの確認画面が表示されます。



2 アルバムを選ぶ

- ファイラー一覧画面が表示されます。

3 写真または動画をタップする

- 写真または動画が全画面で表示されます。
- 左右フリックすると、次/前の写真または動画を表示します。
- ピンチアウト/ピンチインまたはダブルタップすると写真を拡大/縮小できます。
- [] をタップすると、画面の明るさを最高輝度にします。
- [] をタップすると、写真の情報を表示します。
- 動画を再生するには [] をタップします。

■ 写真・動画を削除する

全画面表示 → [] → [OK]

- アルバム一覧画面またはファイラー一覧画面で [] → [アルバムを選択] または [項目を選択] をタップすると、まとめて削除できます。

■ コピー・移動を行う

写真や動画を本機内やmicroSDカードにコピー・移動したり、フォルダーを作成したりできます。

1 全画面表示 → [] → [移動]/[コピー]

- アルバム一覧画面またはファイラー一覧画面で [] → [アルバムを選択] または [項目を選択] をタップすると、まとめて移動/コピーできます。

2 移動またはコピー先を選ぶ

- 新しくフォルダーを作成して移動またはコピーすることもできます。

連絡帳

ストレージから連絡先をインポートする

- Google アカウントを利用してデータを同期できます。

1 ホーム画面 → [⋮] → [📧]

2 [⋮] → [インポート/エクスポート] →
[ストレージからインポート] → [OK]

- アカウントやファイルが複数ある場合はアカウントやファイルを選びます。

連絡先を表示する

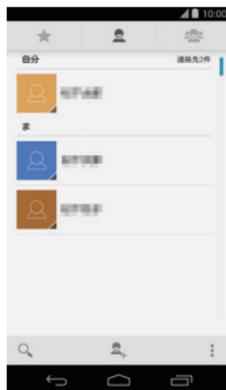
ホーム画面 → [⋮] → [📧]

- 連絡先一覧画面が表示されます。

■ 電話発信/メール送信を行う

連絡先一覧画面 → 連絡先をタップ →
電話番号やメールアドレスをタップ

- 連絡先のイメージアイコンをタップして、電話やメールアイコンをタップしても操作できます。



連絡帳をバックアップする

1 連絡先一覧画面 → [⋮] → [インポート/エクスポート]

2 [ストレージにエクスポート]/[表示可能な連絡先を共有]をタップする

3 画面に従って操作する

Eメール/Gmail™

メールアカウントを設定する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 メールアドレスとパスワードを入力 → [次へ]
- 3 画面に従って操作する

Eメールを作成して送信する

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 []をタップする
- 3 [To]をタップして送信先のメールアドレスを入力する
 - CcやBccを入れる場合は、[] → [Cc/Bccを追加]をタップします。
- 4 [件名]をタップして件名を入力する
- 5 [メールを作成します]をタップしてメッセージを入力する
 - 添付ファイルを送りたいときは[] → [画像を添付]/[動画を添付]をタップし、添付したいファイルを選びます。
- 6 []をタップする

Eメールを受信して読む

1 ホーム画面 → [] → []

- 受信トレイ一覧画面が表示されます。
- 受信トレイを更新する場合は、[] → [更新] をタップします。

2 表示したいメールをタップする

■ 返信する

1 受信トレイ一覧画面 → 返信したいメールをタップ

2 [] をタップする

- 全員に返信する場合は、[] → [全員に返信] をタップします。

3 メッセージを入力 → []

Gmail

Googleアカウントを利用してGmailでメールを送受信できます。

- Gmailの各操作はEメールと類似しています。
メールの送受信方法について詳しくは、**35**ページの「Eメールを作成して送信する」と上記の「Eメールを受信して読む」をお読みください。

ホーム画面 → [] → []

ウェブブラウザの起動

本機でウェブページの閲覧、ブックマークの管理、画像やファイルのダウンロードなどが行えます。

ウェブページを見る

1 ホーム画面 → [⋮] → [🌐]

2 アドレスバーにアドレスを入力 → [実行]

■ 前のページに戻る

[⋮] → [←]

- [↶]をタップしても前のページに戻ります。

■ 前のページに進む

[⋮] → [→]

- [←]または[↶]でページに戻したあとにタップすると、直前に閲覧していたページに進みます。

ウェブページを検索する

1 ホーム画面 → [⋮] → [🌐]

2 アドレスバーに検索ワードを入力 → [実行]

履歴からウェブページを表示する

1 ホーム画面 → [⋮] → [🌐]

2 [⋮] → [履歴] → ウェブページをタップ

電話

電話をかける

- 1 ホーム画面 → [] → []
- 2 電話番号を入力する → []
 - 電話番号を間違えて入力したときは、[]をタップして入力した番号を消します。
- 3 通話が終了したら[]をタップする

通話中の操作

- 受話音量を調節する
通話中 → []ボタン/[]ボタン
- 通話中にディスプレイを表示する
通話中に本機を耳に当てると、近接センサーによってディスプレイが消灯します。これは電池消費を抑えるだけでなく、通話中の不本意な操作を防ぐためです。本機を耳から離すとディスプレイが表示されます。
スリープ中の場合は[]ボタンを押します。
- 通話を保留する
通話中 → []
- ミュートにする
こちらの声が相手に聞こえないようにします。
通話中 → []

携帯電話機能に関するご相談窓口

電話 フリーダイヤル  **0120-871-126** 受付：平日9時～17時
※携帯電話・PHSからご利用になれます。

※当社所定の休日を除く。
※microSIMカードの詳細については、ご利用のSIMカードを提供する通信事業者にお問い合わせください。

- **スピーカーフォンにする**
相手の声をスピーカーから流します。

通話中 → []

- **通話中にダイヤル番号を入力する**
音声案内などでプッシュ信号を送信するときなど、通話中にダイヤル操作が必要になった場合に操作します。

通話中 → [] → 番号を入力

通話履歴から電話をかける

1 ホーム画面 → [] → []

- 通話履歴画面が表示されます。
- 履歴の種類によって下記のアイコンが表示されます。

[]: 発信履歴

[]: 着信履歴

[]: 不在着信履歴



2 電話をかけたい相手の電話番号または名前をタップする

電話を受ける

1 電話がかかってきたら、[] を [] へドラッグする

- 着信を拒否する場合は、[] を [] にドラッグします。

2 通話が終了したら [] をタップする

Q & A 故障かな?と思ったら

- 症状が改善しない場合は「保証とアフターサービス」をお読みください。
- 「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)では、より多くのQ&Aが記載されていますので、併せてご確認ください。

本機の電源が入らない。

- 電池切れになっていないか確認してください。

タッチパネルをタップしても動作しない。

- スリープモードになっていないか確認してください。
→ スリープモードの場合は[>] ボタンを押してスリープモードを解除してください。

本機が予期しない動きをする。

- 下記の方法を確認してください。
→ 電源をON/OFFする。
→ 電源をOFFして、microSIMカードを抜き差しする。
→ アップデートをする。(P41)
→ microUSB端子にACアダプターなどを接続していない状態で、本機が再起動するまで約10秒間、[>] ボタンを押し続けてください。再起動する際にバイブレーションが動作します。
→ 本機を初期化する。

充電できない。

- ACアダプターの接続を確認してください。(P16)
- 周囲の環境温度をご確認ください。

電池の使用時間が短い。

- 本機の使用頻度や設定状態、電波状態などにより使用時間は短くなります。

本機が熱くなる。

- 使用時や充電時は本体が暖かくなることがあります。動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。

着信しない。

- 電波の弱い場所にいる可能性があります。
→ 場所を移動してください。
- 正しくモバイルネットワークに接続されているか確認してください。

通話が中断される。

- 電波の弱い場所にいる可能性があります。
→ 場所を移動してください。

システムアップデート

ソフトウェアのアップデートが必要になった場合に、更新ファイルを取得してソフトウェアをアップデートできます。

- システムアップデートにはネットワークに接続されている必要があります。
- システムアップデートは、電波状態の良い場所で移動せずに行ってください。
- システムアップデートは、バッテリー残量が十分の状態で行ってください。
- システムアップデート中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。
- 国際ローミング中、または圏外にいるときは、更新ファイルを取得できません。
- システムアップデートには時間がかかる場合があります。
- システムアップデート中は電源を切らないでください。システムアップデートに失敗することがあります。
- システムアップデートの際、本機の固有の情報（機種や製造番号など）が当社のシステムアップデート用サーバーに送信されます。当社は送信された情報をシステムアップデート以外の目的には利用いたしません。
- システムアップデート後は本機が再起動します。PINコードが設定されているときは、再起動の途中でPINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- システムアップデートを行うと、一部の設定が初期化される場合があります。その場合は、再度設定を行ってください。
- システムアップデートを行うと、以前のバージョンへ戻すことはできません。
- システムアップデートは、本機に登録した連絡帳、写真、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水ぬれなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをお勧めします。
ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- システムアップデートに失敗した場合、本機が起動しなくなることや、[Software update failed.]と表示され一切の操作ができなくなることがあります。その場合は、販売店までお問い合わせください。

アップデートが必要になると

アップデートが必要になると、通知パネルに[]が表示されます。

- 1 通知パネルを開く → 通知をタップ
- 2 画面に従って操作する

使用上のお願い

■ 操作環境について

本機が損傷するおそれがあるため、次の場所には置かないでください。

- 電気製品の近く。画像が乱れたり、雑音が起きたりすることがあります。
- 極端に高温または低温のところ。

■ 本機について

- 本機を持ち運ぶときは、落としたり、ぶつけたりしないでください。

- スポンの後ろポケットに本機を入れて運ばないでください。

座ったときに本機が損傷する原因になります。

- 本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。

ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。

－ 砂やほこりの多いところ

－ 雨の日や浜辺など水がかかるところ

- 磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビやゲーム機など)からはできるだけ離れて使用してください。

－ テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。

－ スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。

－ マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波によって、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。

－ 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、ACアダプターを一度抜いてから、あらためて接続し、電源を入れ直してください。

- 電波塔や高圧線の近くでは、なるべく使わないでください。

－ 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなる場合があります。

- 本機を互換性のない製品や部品に接続しないでください。

- 本機に色を塗ったり、厚いシールを貼ったりしないでください。

正しく動作しなくなるおそれがあります。

- 殺虫剤や揮発性のものを本機にかけないでください。

－ かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。

- ゴム製品やビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

- 本機はGPS機能を搭載していますが、航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量装置としての使用はできません。

これらの目的での使用、または本機の故障や誤操作などの外的要因(電池切れを含む)が原因の不正確な測定結果や情報により生じた損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。

- 本機のOSがアップデートされると、本機の機能や操作手順が変更されたり、特定のアプリが動作しなくなったりする場合があります。

- ダウンロードしたりインストールする前に、ソフトウェアの安全性とセキュリティを確認してください。

マルウェアやウィルスによる故障や情報流出の危険性があり、ボリュームが大音量になることもあります。

■ レンズ、ディスプレイについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。
- ディスプレイ上に物を置いたり、先のとがったもので押さえつけないでください。ディスプレイの表面に傷がつく原因になります。

■ 周辺機器を使用する場合

周辺機器の損傷を防ぐため、下記の記載事項をお守りください。

また、周辺機器の取扱説明書をよくお読みください。

- 本機の仕様に合った周辺機器を使用してください。
- コネクターの形状、向きを確認して正しく接続してください。
- 接続しにくい場合は、無理に押し込まず、コネクターの形状、向き、ピンの並び方などを確認してください。

■ お手入れについて

お手入れの際はACアダプターのケーブル端子を本機から抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■ 個人情報について

● 個人情報の漏えいを防ぐため、メッセージや添付ファイルなどを送信する前に必ず宛先を確認してください。

■ 内蔵電池について

- 内蔵電池は消耗品です。使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、販売店までお問い合わせください。
- 内蔵電池を交換すると個人情報は消去され、設定はお買い上げ時の状態に戻ります。大切な情報はバックアップすることをお勧めします。
- 内蔵電池の充電時間、使用時間は、使用環境により異なります。
- 内蔵電池は周囲温度5℃～35℃の範囲で充電してください。
- 本機を長期間(1か月以上)使用しない場合は、電池残量が30%～40%になるまで充電または放電(使用)し、涼しく乾燥した場所で保管してください。
- 本機の内蔵電池は、充電式リチウムイオン電池です。

本機の使用電池

名称 : リチウムイオン(Li-ion)
充電式電池
公称電圧: DC 3.8 V



充電式

リチウムイオン
電池使用

Li-ion 00

このマークはリチウムイオン電池のリサイクルマークです。

■ 本機を修理依頼される場合

- 修理につきましては、販売店またはパナソニックまでお問合わせください。
- 修理をすると、個人情報は消去され、設定はお買い上げ時の状態に戻ります。大切な情報はバックアップすることをお勧めします。
- 修理に出す前に、個人情報保護のため、ホーム画面 → [設定] → [バックアップとリセット] → [データの初期化] で設定をリセットしてください。

■ 本機を廃棄する場合

- ご使用済みの製品の廃棄に際しては、[データの初期化]をして本機のデータを完全に消去したあと、本機に内蔵している電池を取り出し、電池のリサイクルにご協力ください。
電池の取り出し方について詳しくは、45 ページをお読みください。
- 取り出した電池はお早めにリサイクル協力店へご持参ください。

製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。



危険

本機専用の充電式電池です

この機器以外に使用しない

取り出した充電式電池は充電しないでください。

- 火への投入、加熱をしない
- くぎで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない
- ⊕と⊖を金属などで接触させない
- ネックレス、ヘアピンなどと一緒を持ち運んだり保管しない
- 電子レンジやオープンなどで加熱しない
- 火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない
- 水中への投入をしない
発熱・発火・破裂の原因になります。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。



警告

取り外したねじなどは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

- 不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。
使用済み充電式電池の届け先
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
- ホームページ <http://www.jbrc.com>

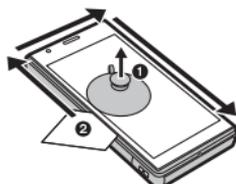
電池の取り出し方

ご使用済み製品の廃棄の際は、[データの初期化]をして本機のデータを完全に消去してください。

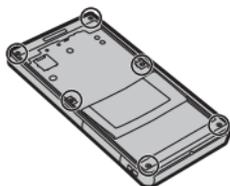
下記の図は、本機を廃棄するための説明であり、修理用の説明ではありません。
分解した場合、修復は不可能です。

- 電池を使い切ってから分解してください。
- 分解の際、けがをしないように手袋の使用をお勧めします。
- うまく取り出せない場合、販売店へお問い合わせください。

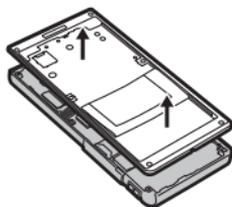
- 1 吸盤(市販)を使い、液晶パネルを引き上げて、本機との隙間にカードのような薄い板を入れて液晶パネルをはがす



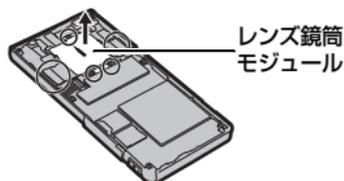
- 2 下図のねじ(6本)をすべて外す
● プラスドライバー(市販)をお使いください。



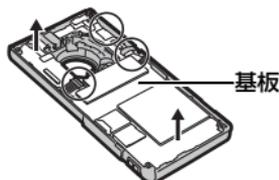
- 3 ケースを外す



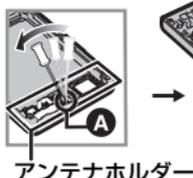
- 4 ねじ(3本)とカバー、フレキシブル基板のコネクター(2か所)を外し、レンズ鏡筒モジュールを外す



- 5 フレキシブル基板のコネクター(3か所)を外し、基板を外す



- 6 アンテナホルダーの差し込み口(A)にマイナスドライバー等(市販)を差し込んで、アンテナホルダーを浮かせて取り外し、電池を外す



- 使用済み充電式電池の取り扱いについて
- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

■ **海外旅行などでお使いの場合**

- 国や地域によっては、GPSの使用などが規制されている場合があります。本機にはGPS機能がありますので、海外旅行などで外国に持ち込む場合は、事前にGPS機能付きカメラについて持ち込み制限などがないか、大使館や旅行代理店などにご確認ください。

■ **microSIMカード、microSDカードについて**

- microSIMカードやmicroSDカードを取り出すときは、電源を切ってから行ってください。
データが損失したり、microSIMカードやmicroSDカード、本機の故障の原因になります。
- microSIMカードやmicroSDカードに保存されたデータは、消失に備えてバックアップをとることをお勧めします。

- 本機の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Adobeは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Google、Android、Google Play およびその他のマークは、Google Inc. の商標です。
- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- “Wi-Fi CERTIFIED™” ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup™識別マークは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- “Wi-Fi®” は“Wi-Fi Alliance®”の登録商標です。
- “Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™”は“Wi-Fi Alliance®”の商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。



本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License 及び AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- 画像情報を MPEG-4 Visual、AVC 規格に準拠して (以下、MPEG-4/AVC ビデオ) を記録すること。
- 個人的活動に従事する消費者によって記録された MPEG-4/AVC ビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手した MPEG-4/AVC ビデオを再生すること。詳細については MPEG LA, L.L.C. (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- 本製品は、InterDigital Technology 社からのライセンスに基づき生産・販売されています。

- 本製品には GNU General Public License (GPL v2)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL v2 または LGPL に従い、複製、頒布及び改変することができます。本製品の引渡から少なくとも 3 年間、パナソニック株式会社は以下の問い合わせ先にお問い合わせされた方に、配布に要する実費をご負担いただくことを条件として、機器による読取が可能な GPL v2/LGPL が適用されるソースコードの複製物を提供いたします。

<お問い合わせ先>

oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、ソースコードは以下のウェブサイト経由で入手することもできます。

<http://panasonic.net/avc/oss/index.html>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問にはお答えしかねますので、予めご了承ください。携帯電話からのダウンロードは行えません。ダウンロードはお手持ちのパソコンをご利用ください。当該ソフトウェアに関する詳細 (GPL v2/LGPL の各ライセンス文含む) は、ホーム画面 →  →  → [端末情報] → [法的情報] → [オープンソースライセンス] の手順で確認することができます。

- 本製品には、上記の他、次のソフトウェアが含まれます。
 - Apache License (v.2.0) の下で提供される Apache Software Foundation が開発したソフトウェア
 - The Free Type Project License の下で提供されるソフトウェア
 - ICU License-ICU 1.8.1 and later Copyright©1995-2011 International Business Machines Corporation and others
 - MIT-License の下で提供されるソフトウェア
 - The Independent JPEG Group によって開発されたソフトウェアこれらのソフトウェアに関する詳細 (ライセンス文含む) は、ホーム画面 →  →  → [端末情報] → [法的情報] → [オープンソースライセンス] の手順で確認することができます。

日本国内で無線LAN / Bluetooth®をお使いになる場合のお願い

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえで、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口		365日 受付9時~20時
電話 フリーダイヤル  0120-878-638		パナは ルミックスバチ!
※携帯電話・PHSからもご利用になります。		
■上記番号がご利用 いただけない場合	06-6907-1187	■FAX フリーダイヤル  0120-878-236

本機器の無線LAN機能(2.4 GHz帯)が使用する周波数帯

2.4DS/OF4

この機器が、2.4 GHz周波数帯(2412から2472 MHz)を使用する直接拡散(DS)方式/直交周波数分割多重方式(OF)の無線装置で、与干渉距離が約40 mであることを意味します。

本機器のBluetooth機能が使用する周波数帯

2.4FH 1/XX 1

この機器が、2.4 GHz周波数帯(2402から2480 MHz)を使用する周波数ホッピング(FH)方式/その他の方式の無線装置で、与干渉距離が約10 mであることを意味します。

本機のWi-Fi機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波法関連規則等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

5 GHz 機器使用上の注意事項

5 GHzの周波数帯においては、5.2 GHz/5.3 GHz/5.6 GHz帯(W52/W53/W56)の3種類の帯域を使用することができます。

- W52(5.2 GHz帯 /36, 40, 44, 48ch)
- W53(5.3 GHz帯 /52, 56, 60, 64ch)
- W56(5.6 GHz帯 /100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)

5.2 GHz/5.3 GHz 帯(W52/W53)を使って屋外で通信を行うことは電波法で禁止されています。W52/W53をご使用で、無線LANの電源がオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめ IEEE802.11aを無効に設定しておいてください。5.5 GHz ~ 5.7 GHzの周波数帯域(W56)の屋外での使用については電波法で禁止されていません。IEEE802.11aを使用して本機と通信するには、W52/W53/W56のいずれかに対応した無線LANアクセスポイントをお使いください。IEEE802.11n/ac準拠モードで通信するには、本モードに対応した無線LANアクセスポイントが必要です。また本機および無線LANアクセスポイントの暗号化設定をAESに設定する必要があります。詳しくは無線LANアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。

改造された本機は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。

本機は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合等証明および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合等認定を受けており、その証として「技適マーク 」が本機で表示されます。

本機の技適マーク及び固有の認証番号に関する電子表示は下記の操作を行うと確認できます。

ホーム画面で  →  → [端末情報] → [認証情報]の手順でタップすると表示されます。

本機のねじを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。

技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

本機の比吸収率(SAR)

この機種 DMC-CM1 は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

本端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(*)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対する SAR の許容値は 2.0 W/kg です。本端末の側頭部における SAR の最大値は 0.260 W/kg、通常使用状態における身体に装着した場合の SAR の最大値は 0.627 W/kg です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

本端末は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常 SAR はより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

本端末は、側頭部以外の位置でも使用可能です。市販品のホルスター等のアクセサリをご使用するなどして、身体から 1.0 センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/index02.html>

※ 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第 14 条の 2)で規定されています。

輸出管理規制

本機および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また、米国再輸出規制 (Export Administration Regulations) の適用を受けます。

本機および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。

詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源	3.8 V(バッテリー使用時) 5.0 V/9.0 V(同梱 AC アダプター使用時)
消費電力	3.1 W(撮影時) 2.4 W(再生時)

寸法(突起部除く)	約 幅135.4 mm×高さ68.0 mm×奥行き21.1 mm (ボディ部 15.2 mm)	
質量	約203 g 約204 g(microSIM カード、microSD カード含む)	
メモリ	ROM	16 GB
	RAM	2 GB
	外部メモリ	microSD、microSDHC、microSDXC 最大 128 GB
SIM カードスロット	microSIM カードスロット×1	
連続待ち受け時間 ^{*1}	3G(WCDMA)/4G(LTE)	約 630時間
	2G(GSM)	約 560時間
連続通話時間 ^{*2}	3G(WCDMA)	約 12 時間
	2G(GSM)	約 11 時間
充電時間 ^{*3}		約 150分
ディスプレイ	方式	TFT
	サイズ	4.7 型
	ドット数 (画素数)	約 622 万ドット (フルHD:1920×1080RGB)
タッチパネル		静電容量方式 (10 点マルチタッチ)

※1 電波を正常に受信できる状態での目安です。充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態などにより連続待受時間は短くなります。

※2 電波を正常に送受信できる状態で通話したときの目安です。

※3 電池が空の状態で本機の電源を切って充電したときの目安です。本機の電源を入れたまま充電した場合、充電時間は長くなります。

アウトカメラ	有効画素数	約 2010 万画素
	記録画素数 (最大時)	約 2000 万画素
	ズーム	写真:最大 4 倍 動画:最大 4 倍
	撮像素子	1 型 MOS センサー 総画素数 2090 万画素、原色カラーフィルター
	レンズ	f=10.2 mm (35 mm フィルムカメラ換算 : 28 mm) F2.8 ~ F11
	撮影範囲	10 cm ~ ∞
	シャッター システム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
	最低被写体照度	約 9 lx (i ローライトモード時、シャッタースピード 1/30 秒)
	シャッター スピード	写真:60 秒 ~ 1/16000 秒 ([シャッター方式]の[オート]設定時) 60 秒 ~ 1/2000 秒 ([シャッター方式]の[メカシャッター]設定時) 動画: 1/30 秒 ~ 1/16000 秒
	露出	プログラム AE (P)、絞り優先 AE (A)、 シャッター優先 AE (S)、マニュアル露出 (M)
	測光方式	マルチ測光 / 中央重点測光 / スポット測光
	記録画像 ファイル形式	写真:RAW/JPEG (DCF 準拠、Exif 2.3 準拠) ^{*4} 動画:MP4 [音声圧縮方式: AAC (2ch)]
	インカメラ	有効画素数
記録画素数 (最大時)		約 92 万画素
記録画像 ファイル形式		写真:JPEG (Exif 2.2 準拠) 動画:MP4 [音声圧縮方式: AAC (2ch)]
マイク	ステレオ	
スピーカー	モノラル	
推奨使用温度	5 °C ~ 35 °C	
許容相対湿度	10%RH ~ 80%RH	
イヤホンマイク端子	Ø3.5 3 極 / 4 極	
インターフェース	microUSB (USB 2.0 High Speed)	
センサー	電子コンパス、加速度、角速度、照度、近接、気圧	
音楽再生	AAC、AAC ⁺ 、enhanced AAC ⁺ 、AMR-NB、WB、MP3、 FLAC、MIDI、Vorbis、WAVE	
動画再生	H.263、MPEG4、H.264	

※4 パノラマモードまたは動画撮影中の写真記録時は、Exif 2.2 準拠になります。

無線LAN	準拠規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac 準拠(無線 LAN 標準プロトコル)	
	使用周波数範囲 (中心周波数)	2.4 GHz	2412 MHz ~ 2472 MHz(1 ~ 13ch)
		5.2 GHz/ 5.3 GHz	5180 MHz ~ 5320 MHz W52: 36, 40, 44, 48ch, W53: 52, 56, 60, 64ch
		5.6 GHz	5500 MHz ~ 5700 MHz, 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch
	セキュリティ	クライアント	Wi-Fi 準拠 WEP, WPA™/WPA2™(暗号化方式: TKIP/AES、認証方式: PSK)
テザリング		Wi-Fi 準拠 WPA/WPA2(暗号化方式: TKIP/AES、認証方式: PSK)	
	アクセス方式	インフラストラクチャーモード	
Bluetooth 機能	対応バージョン	Bluetooth 標準規格 Ver.4.0 に準拠	
	対応プロファイル	HFP/HSP/OPP/A2DP/AVRCP/SPP/PBAP/HID/ MAP/HOGP	
	使用周波数範囲	2402 MHz ~ 2480 MHz	

セルラー部

準拠規格	4G(LTE)	3GPP TS 36.521-1 clause 6 and 7
	3G(WCDMA)	3GPP TS 34.121-1 clause 5 and 6
	2G(GSM)	3GPP TS 51.010 clause 12, 13 and 14
通信方式	4G(LTE)	サポートバンド: 1, 3, 4, 5, 7, 8, 20
	3G(WCDMA)	サポートバンド: I, IV, V, VIII HSDPA カテゴリー: 24 HSUPA カテゴリー: 6
	2G(GSM)	サポートバンド: 850, 900, 1800, 1900 GPRS Class: 10 EGPRS Class: 10

NFC 部

準拠規格	RW 動作: ISO 14443 Peer to Peer 動作: ISO 18092
------	--

GPS 部

準拠規格	GPS, GLONASS
------	--------------

専用ACアダプター: 品番 VSK0829 Qualcomm Quick Charge 2.0

準拠規格	Quick Charge 2.0 Class A
入力	100 V ~ 240 V ~ 50/60 Hz 0.5 A
出力*5	5.0 V === 1.8 A, 9.0 V === 1.8 A, 12.0 V === 0.9 A (for Panasonic System)

*5 本機との接続時は 5.0 V === 1.8 A, 9.0 V === 1.8 A に対応となります。

もっと詳しく知りたい (取扱説明書 活用ガイドを読む)

さらに詳しい使い方を知りたいときは、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)をお読みください。

「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)をWebサイトからダウンロードする

「取扱説明書 活用ガイド」はWebサイトからダウンロードできます。

<http://panasonic.jp/support/dsc/oi/index.html?model=DMC-CM1&dest=JP>



- 「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)を閲覧・印刷するためには、Adobe Readerが必要です。
Adobe Readerは、下記のサイトからダウンロードできます。
(2015年1月現在)

<http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep2.html>

CLUB Panasonic ご愛用者登録のご案内

このたびは、パナソニック商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

さて、弊社ではより良い商品とサービスをお客様にご提供できるようにパナソニック商品をご購入の方にご愛用者登録をお願いしています。

ぜひ、この機会にご愛用者登録をお願いいたします。

※ 皆様の貴重なご意見を、製品の開発や改善の参考とさせていただきますと思いますので、アンケートにもご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご登録特典1	家電情報をまとめて登録/管理 購入年月や製造番号などをMy家電リストに保存できます。
ご登録特典2	商品情報をスムーズに入手 Q&Aや取扱説明書など、商品に関する情報が見られます。
ご登録特典3	エンジョイポイントがたまる たまったポイントでプレゼントに応募できます。

お問い合わせ先: CLUB Panasonic事務局 (club-info@panasonic.jp)

ご登録手順

下記のいずれかを選んでください。

■ パソコンからの登録方法

次のアドレスにアクセスしてください。

<http://club.panasonic.jp/>

■ 携帯電話からの登録方法

携帯電話から登録する場合は、携帯電話のメールアドレスが必要です。

- 二次元バーコードを使ってアクセスする場合



- URLを入力してアクセスする場合

<http://mobile.club.panasonic.jp/>

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■ **まず、お買い求め先へご相談ください**

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名				
電話	()	—	
お買い上げ日		年	月	日

修理を依頼されるときは

「Q & A 故障かな?と思ったら」(40ページ、ならびに取扱説明書 活用ガイド (PDF形式))でご確認のあと、直らないときは、まず本機に接続しているケーブルを外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

● 製品名	デジタルカメラ
● 品番	DMC-CM1
● 故障の状況	できるだけ具体的に

● 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

● 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 **5年**

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後5年保有しています。

- 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

- 使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://www.panasonic.com/jp/support/>

パナソニック LUMIX (ルミックス) ご相談窓口 ^{365日} 受付9時~20時

パナは ルミックスパチ!

電話 フリー
ダイヤル



0120-878-638

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記番号がご利用
いただけない場合

06-6907-1187

- FAX

フリーダイヤル

 **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

● 宅配修理サービスのご案内（Webサイトからもお申し込みいただけます）

パナソニック 修理サービスサイト

<http://lumix.jp/repair/>

インターネットでのご依頼も可能です。

■ お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。（保証期間内は無料です）

愛情点検

長年ご使用のデジタルカメラの点検を！



こんな症状はありませんか

- ・ 煙が出たり、異常なおいや音がする
- ・ 映像や音声が乱れたり出ないことがある
- ・ 内部に水や異物が入った
- ・ 本体やACアダプターが破損した
- ・ その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、本体の電源を切り、ACアダプター使用時はコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

地域窓口へ直接お持ち込みされる場合は、ホームページにて地図を掲出してあります。

<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html>

■ 各地域の修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口へ転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札幌	☎ (011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	
	旭川	☎ (0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166	
	帯広	☎ (0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3	
	函館	☎ (0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241	
東北地区	青森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1	
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1	
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43	
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18	
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75	
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市備前館2丁目5	
首都圏地区	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1	
	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3	
	埼玉	☎ (048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番	
	川口	☎ (048)297-7820	川口市戸塚2丁目23-20	
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5	
	東京	☎ (03)5303-6901	東京都杉並区本天沼3丁目43-16	
	秋葉原	☎ (03)3251-4616	千代田区外神田1丁目8-1 第三電波ビル	
	立川	☎ (042)537-5611	立川市幸町4丁目3-1	
	山梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1	
	神奈川	☎ (045)828-2180	横浜市戸塚区品濃町561-4	
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14	
	中部地区	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
		富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
福井		☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14	
長野		☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11	
静岡		☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24	
愛知		☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩込町8-10	
岐阜		☎ (058)278-6720	岐阜市中鷄4丁目42	
三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421		

近畿地区	滋賀	☎(077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
	京都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎(06)7730-8888	門真市松生町1-15
	奈良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	松江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
四国地区	山口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
	香川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
	九州地区	福岡	☎(092)593-8002
佐賀		☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
長崎		☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
大分		☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮崎		☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
熊本		☎(096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
沖縄地区	鹿児島	☎(099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
	沖縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。

<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html> 1114

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。

また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知させていただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

<無料修理規定>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離れた本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
 - (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - (ホ) 電池や、消耗または摩耗した部品交換の場合
 - (ヘ) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
 - (ト) 本書のご添付がない場合
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (リ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

- ※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
- ※ This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

デジタルカメラ保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	DMC-CM1		
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間		
※ お買い上げ日	年	月	日
※ お客様	ご住所 お名前 様		
	電話 ()	—	
※ 販売店	住所・販売店名		
	電話 ()	—	

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号 TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

